

資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会(資料配布)
2. 国土交通記者会(資料配布)
3. 国土交通省建設専門紙記者会(資料配布)

日時：令和4年12月23日(14:00)



国立研究開発法人土木研究所『共同研究者の募集』について

(高精度地形データに対応した道路斜面の地形判読手法に関する共同研究)

国立研究開発法人土木研究所では、令和5年度新規に実施する以下の共同研究について、共同研究者を募集しますのでお知らせします。なお、研究内容等の詳細につきましては、担当チームにお問い合わせください。

1. 土木研究所が提案する共同研究 (土研提案型：公募共同研究)

高精度地形データに対応した道路斜面の地形判読手法に関する共同研究 (詳細は別添-1) 担当：地質・地盤研究グループ	令和5年4月(予定) ～ 令和8年3月
<p>共同研究の目的</p> <p>道路斜面の危険度評価の一環として必要である地形判読について、近年急速に技術開発・普及が進んでいる高精度の三次元地形データに基づく判読手法を検討し、標準的な手法として体系化することを目的とする。</p> <p>共同研究の内容(項目)</p> <p>①高精度地形データ及びそれに基づく地形判読事例の収集・整理 航空レーザ測量等による高精度の三次元地形データ及びそれに基づく地形判読事例を収集するとともに、必要に応じて追加の地形判読、各種図面の作成を行い、それらの資料を取りまとめて高精度地形データに基づく道路斜面の地形判読事例集を作成する。</p> <p>②高精度地形データに基づいた地形判読手法の検討 高精度地形データに基づく地形判読を行う際の課題を整理するとともに、それらの課題への対応を含め、地形判読の実施手順の検討を行う。</p> <p>③とりまとめ 上記の検討結果をとりまとめ、高精度地形データに基づく道路斜面の地形判読マニュアルを作成する。</p>	

2. 募集期間 **令和4年12月23日(金) から 令和5年1月20日(金) 17:00まで**

3. その他 土木研究所の共同研究制度の概要や申請書、協定書等の様式につきましては、土木研究所ホームページ (<https://www.pwri.go.jp/>) に掲載しております。なお、申請書類につきましては、下記担当へ提出願います。
 (地質・地盤研究グループ浅井宛て)

問 い 合 わ せ 先	
一般的なことについて	国立研究開発法人土木研究所 企画部 研究企画課 課長 矢島 良紀 主査 田中 勝裕 電話 029-879-6751
研究内容について	国立研究開発法人土木研究所 地質・地盤研究グループ 上席研究員 浅井 健一 電話 029-879-6769

別添-1

1. 共同研究の名称

高精度地形データに対応した道路斜面の地形判読手法に関する共同研究

2. 共同研究の概要

＜共同研究の目的＞

道路斜面の危険度評価の一環として必要である地形判読について、近年急速に技術開発・普及が進んでいる高精度の三次元地形データに基づく判読手法を検討し、標準的な手法として体系化することを目的とする。

共同研究の内容（項目）

- ①高精度地形データ及びそれに基づく地形判読事例の収集・整理
 - ・データ、判読等の業務に関する情報収集、判読の実施
 - ・管理者への了解、収集資料とりまとめ、事例集作成
- ②高精度地形データに基づいた地形判読手法の検討
 - ・地形判読の実施に関する課題の整理
 - ・地形判読の実施手順の検討
- ③とりまとめ
 - ・マニュアル作成

3. 実施期間 令和5年4月（予定） ～ 令和8年3月31日（全体計画3年間）

＜裏面もご覧下さい＞

4. 共同研究の内容及び研究分担

研究の分担						
研究項目	研究細目	研究分担		年次計画		
		土研	共同研究者	5年度	6年度	7年度
①高精度地形データ及びそれに基づく地形判読事例の収集・整理	データ、判読等の業務に関する情報収集、判読の実施	○	◎	→		
	管理者への了解、収集資料とりまとめ、事例集作成	◎	○	→		
②高精度地形データに基づいた地形判読手法の検討	地形判読の実施に関する課題の整理	○	◎	→		
	地形判読の実施手順の検討	◎	◎	→		
③とりまとめ	マニュアル作成	◎	○	→		

※ 研究分担に主従がある場合は、主として分担する場合は◎印とし、従として分担する場合は○印とする。

5. 共同研究に参画する条件及び募集する参加者数等

< 参画条件 >

下記条件(1)および(2)を満たすこと。

(1)下記1)2)の両方に該当すること。

1)道路防災に関する研究または業務について下記①②のいずれかに該当すること。

①道路斜面防災に関する現地踏査を伴う研究実績を有するとともに、現在も研究を実施していること。

②道路斜面防災に関する現地踏査を伴う調査・点検（道路防災点検・防災カルテ点検）等の業務の受注実績を有すること。

2)斜面の地形判読に関する研究または業務について下記③④のいずれかに該当すること。

③高精度地形データ*に基づいた斜面の地形判読に関する研究実績を有するとともに、現在も研究を実施していること。

④高精度地形データ*に基づいた斜面の地形判読を伴う業務の受注実績を有すること。

*：ここでは航空レーザ測量等によって得られた2mメッシュ程度またはそれ以上の細かさを持つ三次元点群の地形データとする。

(2)本研究の遂行のため適切な人員配置が可能でありかつ必要な費用を分担できること。

< 参加者の選定方法 >

共同研究申請書等の内容を審査し、参画条件について精査するとともに、組織並びに参加者個人の実績、研究員数及び研究員の経歴を総合的に評価し選定する。

6. 注意事項

本共同研究において、各者で実施（分担）する研究に係る費用は、各者の負担とする。

7. 担当者

地質・地盤研究グループ

浅井（TEL：029-879-6769）